

エイム電子株式会社

エコアクション21環境活動レポート

2017年10月 ～ 2018年9月



発行日2018年10月26日

改訂日2018年11月6日

～目次～

■組織の概要	1
■対象範囲、レポートの対象期間及び発行日	1
■環境方針	2
■環境目標	3
■環境活動計画	4
■環境目標の実績	5
■取組結果とその評価、次年度の取組内容	6
■環境関連法規制の遵守状況	7
■代表者による全体評価と見直し	7

AIM
AIM ELECTRONICS

1.組織の概要

1)事業所名及び代表者名

エイム電子株式会社 代表取締役 中山栄志

2)所在地

本 社 : 〒252-0327 神奈川県相模原市南区磯部1353
物流センター: 〒252-0336 神奈川県相模原市南区当麻1107-20

3)環境管理者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者: 経理部長 松島広晃
担 当 者 : EA21事務局 西田
連 絡 先 : 電話 046-253-9881
FAX 046-252-7572

4)事業の活動内容

認証・登録対象活動

ネットワーク用、AV用ケーブル及び周辺機器の製造・輸入販売

5)事業の規模

活動規模	単 位	H27年度	H28年度	H29年度
売上	百万円	975	1,080	1,091
従業員	人	64.1	64.6	71.3
床面積	m ²	755	755	755

2.対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

1)認証・登録範囲

全組織、全活動、全従業員
本社及び物流センター(全社、全活動を含む)

2)レポートの対象期間及び発行日

期 間: 平成29年10月1日～平成30年9月30日

発行日: 平成30年10月26日

改訂日: 平成30年11月6日

3.エイム電子環境方針

[理念]

当社は経営理念に「地球環境と社会に貢献する」を掲げ、地球環境問題への取り組みが企業経営における重要課題の一つであると認識し、地球環境に配慮した事業活動に積極的に取り組んで参ります。

[方針]

- 1) 事業活動の全域で省エネルギー、廃棄物削減、節水の推進に努めます。
- 2) 環境保全に配慮した製品の製造及び資材の購入に努めます。
- 3) 環境マネジメントシステムの継続的な維持向上に努めます。
- 4) 当社の活動に係わる環境関連法規、その他の要求事項を遵守します。
- 5) オフィス用品のグリーン購入を推進します。
- 6) 環境方針を全従業員へ周知させるとともに環境教育及び啓発に努めます。

平成28年10月1日
エイム電子株式会社
代表取締役
中山栄志

4.環境目標

項目		H28年度	H29年度		H30年度	H31年度
		実績 (基準値)	目標	実績値	目標	目標
二酸化炭素排出量削減(kg-CO2)		61,479	58,123	58,914	58,952	58,789
前年比削減率(%)		0.5%	-5.5%	-4.2%	0.1%	-0.3%
二酸化炭素排出量削減	本社電力(kwh)	54,481	49,749	52,020	52,300	52,100
	前年比削減率(%)	5.9%	-8.7%	-4.5%	0.5%	-0.4%
	倉庫電力(kwh)	40,060	36,175	37,897	37,707	37,518
	前年比削減率(%)	10.3%	-9.7%	-5.4%	-0.5%	-0.5%
	化石燃料	ガソリン燃費(km/ℓ)	17.77	18.30	18.02	18.05
	前年比向上率(%)	-7.0%	3.0%	1.4%	0.2%	0.3%
排水量削減(m ³ /人)		5.12	5.07	5.50	5.40	5.38
前年比削減率(%)		4.1%	-1.0%	7.4%	-1.8%	-0.4%
コピー紙購入量削減(kg)		838	834	873	869	865
前年比削減率(%)		1.7%	-0.5%	4.2%	-0.5%	-0.5%
一般廃棄物排出量削減(kg)		2,113	2,092	3,541	3,530	3,520
前年比削減率(%)		13.1%	-1.0%	67.6%	-0.3%	-0.3%
産業廃棄物の適正管理		100% (リサイクル率)	適正管理	100% (リサイクル率)	適正管理	適正管理
グリーン商品の購入推進(%)		57	60	52	53	55
環境に配慮した製品作り及び資材の購入		RoHS比率 98.2%	RoHS比率 98.3%	RoHS比率 99.2%	RoHS2へ 移行	RoHS2へ 移行
防災対策		実施	防災・災害後 対策強化	実施	防災・災害後 対策強化	防災・災害後 対策強化

※ 化学物質の使用無し。

※ CO2排出係数は東京電力の”二酸化炭素排出係数=0.418”を使用。

※ リサイクル率は重量計測で排出する産業廃棄物で計算します。(99%以上が該当)

※ グリーン商品の購入比率は、事務用品、コピー用紙購入額に占めるエコ商品の購入額です。

※ 産廃の適性管理＝産業廃棄物管理票交付、管理及び行政への報告、
産業廃棄物委託契約書の締結、産業廃棄物排出量(リサイクル量)の把握

5.環境活動計画

- (1) **二酸化炭素排出量削減**
 - 1 **本社電力／倉庫電力削減**
 - ・クールビズの励行、卓上ファンの配布
 - ・ウオームビズの励行、足温器の配布
 - ・エアコンの定期清掃による効率アップ
 - ・待機電力カットの強化
 - ・省エネ意識啓蒙イベントの実施
 - 2 **ガソリン燃費削減**
 - ・運転時の排気ガス削減方法を社内に告知
- (2) **排水量削減**
 - ・節水ポスターの見直し
 - ・社内へ節水方法をメール配信
- (3) **コピー紙購入量削減**
 - ・裏紙利用の促進、ルール再確認
 - ・社内書類のペーパーレス化推進
- (4) **一般廃棄物排出量削減**
 - ・一般ゴミの分別の徹底
 - ・廃棄品の定期処理
- (5) **産業廃棄物の適正管理**
 - ・産業廃棄物の適正管理
(産業廃棄物管理票交付、管理及び行政への報告
産業廃棄物委託契約書の締結、産業廃棄物排出量(リサイクル量)の把握)
- (6) **グリーン商品の購入推進**
 - ・定期購入品でグリーン対象外製品をピックアップし、
グリーン製品への切替を図っていく。
- (7) **環境に配慮した製品作り及び資材の購入**
 - ・当社で選択しうる部材、製品についてはRoHS対応する
 - ・RoHS非対応、不明在庫品については対応品への入替を進める
- (8) **防災対策**
 - ・防災グッズの点検、充実化
 - ・非常食、飲料水の点検、充実化
 - ・避難訓練の実施
 - ・防災関連イベント等へ参加し、防災対策の充実化を図る

以上

6. 環境目標の実績

今年度の環境保全活動が終了し、社長と環境管理責任者が環境への取組結果の評価を行った。評価結果は次の通りである。

No.	推進項目	単位	責任者	年度目標	年度実績	評価
1	二酸化炭素排出量削減	kgCO2	松島	58,123	58,914	△
1-①	二酸化炭素排出量削減 本社電力	kwh	西田	49,749	52,020	△
1-②	二酸化炭素排出量削減 倉庫電力	kwh	西田	36,175	37,897	△
1-③	二酸化炭素排出量削減 ガソリン燃費	km/ℓ	西田	18.30	18.02	△
2	排水量削減	m3/人	西田	5.07	5.50	×
3	コピー紙購入量削減	kg	松島	834	873	×
4	一般廃棄物排出量削減	kg	後藤	2,092	3,541	×
5	産業廃棄物の適正管理		後藤	リサイクル100%	リサイクル100%	○
6	グリーン商品の購入推進	%	元木	60	52	×
7	環境に配慮した製品作り 及び資材の購入		松島	RoHS比率 98.3%	RoHS比率 99.2%	○
8	防災対策		大串真	防災・災害後 対策強化	実施	○

※ △=削減したが、目標には達せず

※1 数値目標の無いガソリン、LPGのCO2排出量は前年度並みとして年度目標を計算

7. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

【電力使用量】

2017年9月に実施した本社2F、物流Cの照明LED化や、クールビズ、ウォームビズの取組等により前年からの削減を実現したが、売上増に伴う稼働時間増や、今夏の記録的猛暑により、目標値には届かなかった。猛暑の悪条件下ながら削減に至ったのは、省エネ活動の成果と評価したい。

- 来期は2018年10月設置の太陽電池の効果が通期で出る一方で2019年の新事業所稼働に伴う使用量の増加も見込まれる。新事業所でも本社同様に省エネ施策に取組み、使用量の増加を少なく留めたい。

【ガソリン燃費】

前年より燃費向上したが、ハイブリッド車の短距離稼働が多かった事と使用割合が、55%→53%に微減した事で目標値には届かなかった。一方、走行距離が低下したため、CO2の排出量は抑えることが出来た。

- ハイブリッド車の使用を励行し、燃費の改善を図りたい。

【排水量】

前年より排水量増加してしまったが、稼働時間の増加と、夏期のグリーンカーテン実施によりやむを得ないとする。

- 今後大きな節水は望めないが、今期は具体的な節水への取組みの検討／実施と引き続き、節水意識の啓蒙を実施したい。

【コピー紙購入量】

目標は達成出来ず、前年からも購入量増となってしまう。本社1Fの使用量が33%増となってしまうが35期中に加工手順書のデータ化等を進められたので、来期以降も継続して取り組みたい。

- 社内書類、手続きのペーパーレス化を推進したい。

【一般廃棄物排出量】

分別方法／リサイクル方を明確化するなど、ゴミ削減活動を推進したが、ビニールごみが一般ごみ扱いとなり、大幅増となってしまう。又、従業員増もごみの増加の一因と考えられる。

- リサイクルの周知徹底と共に、ビニールごみの対策を検討したい。

【産業廃棄物の適正管理】

当社の産業廃棄物は再生可能品は総て分別し、リサイクルしている。

- 今後も分別の徹底を続けます。

【グリーン商品の購入推進】

具体的な推進策を実施出来ず、目標値には届かなかった。

- 具体的な推進策を実施、社内啓蒙を図りたい。

【環境に配慮した製品作り】

RoHS非対応品の削減に取組み、目標を達成。

- 来期以降はRoHS2への対応に移行予定

【防災対策】

計画通りに防災対策を進めることが出来た。防災グッズの棚卸、新規購入等も実施。

- 有事に備え、更に防災対策の充実を図りたい。

○代表者の前期指摘事項に対する取組について

・省エネ意識を向上させるイベントを実施してはどうか

⇒35期は実施に至らなかったため、36期で具体的な検討／実施をしたい

・防災への取り組みを更に強化して欲しい

⇒オフィス防災EXPOへの参加と、防災グッズの棚卸／新規購入を実施。

8.環境関連法規制の遵守状況

内 容	過去3年から現在までの結果
遵守状況の確認 及び評価結果 法律違反の有無	2017年10月23日 環境関連法規等の取りまとめ一覧をもとに遵守状況をチェックした結果、報告遅れが1件ありましたが、その他では取り決められたことが確実に守られていました。また、違反は、ありませんでした。
訴訟の有無	なし

9.代表者による評価と見直し

環境目標の達成状況について

残念ながら数値目標は達成出来ていない項目が多かったが、売上／従業員数が伸びている中でもCo2排出量、消費電力に関しては、前年比からの削減を達成したことは、日々の取組の成果と見る。燃費向上は車の変更含めた検討、コピー紙削減については増加の要因を突き詰めての対策立案に取り組んでほしい。

来期への取り組みについて

- ・省エネ意識への取組み／啓蒙の為の社内イベントの実施 等
- ・燃費向上への取組み／車ごとの燃費を周知しての啓蒙 等
- ・BCP含めた、防災の取組み(停電時を想定した訓練 等)

環境方針・環境目標・環境活動計画および環境経営システムについて

取り組みの成果が着実に出ていることから、変更の必要性はないものと判断する。

2018年10月19日
エム電子株式会社
代表取締役 中山栄志